

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第600号（平成27年10月28日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターより
第5回酒田港国際資源循環フォーラム開催のお知らせ
2. 会員情報の確認について（お願い）
3. 次回汚染度事業化PT WG③・④開催のお知らせ

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」を開催
2. 国土交通省の土井副大臣が就任会見
3. 中部地整、港湾工事への破砕瓦のリサイクル利用で実証実験

=====

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターより
第5回酒田港国際資源循環フォーラム開催のお知らせ

NPO法人庄内リサイクル産業情報センターより、第5回酒田港国際資源循環フォーラムを下記の日程で開催する旨のお知らせが届きましたので皆様にお知らせいたします。なお、当協議会も後援をしております。参加ご希望の方は、フォーラム事務局・斉藤様へご連絡願います。

詳細については添付の資料をご確認下さい。

記

日時 平成27年10月30日（金）

国際資源循環フォーラム 15時00分～17時15分

会場 ホテルリッチ&ガーデン酒田（酒田市若竹町1丁目1-1）

2. 会員情報の確認について（お願い）

平素より事務局の円滑な運営にご協力いただきましてありがとうございます。

皆様にご登録いただいている会員情報につきまして、定期的に確認させていただいておりますが、その後、変更等ございましたら、添付の書類にご記入の上ご返信いただければと存じます。

なお、「担当者」としてご登録いただいている方には、書面にて同様の書類を順次お送りいたしますので、併せてご確認いただき、変更点をご返信くださいますようお願い申し上げます。

さらに、電話でも確認させていただくことがございますので、ご協力のほどを重ねてお願い申し上げます。

3. 次回汚染土壌事業化PT WG③・④開催のお知らせ

次回のWG③・④については下記の日程で開催しますのでご確認下さい

記

日 時：平成27年11月4日（水） 13：30～15：00

場 所：みなと総研 3階（奥側）

★次週メルマガはお休みです。

★11月2日（月）は財団記念日のため、事務局及びみなと総研はお休みさせていただきます。

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」を開催

日本港湾協会ら港湾関係5団体主催による平成27年度「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」が10月22日、千代田区平河町の砂防会館別館で開かれた。来賓として石井国土交通大臣、山本国土交通副大臣、土井国土交通副大臣、宮内国土交通大臣政務官、江島国土交通大臣政務官ら政務三役、ならびに望月自民党港湾議員連盟会長を初め50名を超す国会議員も応援に駆け付けた。当日は全国の港湾管理者、港湾所在市長、ならびに港湾関係団体らから約1000名が参加、28年度港湾予算の満額確保に向け、『港湾の整備・振興に関する要望書』を全会一致で決議した。

大会では冒頭、主催者を代表して宗岡日本港湾協会会長が、「我が国は輸送コストや環境負荷等の点で優位性を持つ海運による輸送を支えるとともに、産業展開の拠点となり、自然災害から市民と産業を守る港湾の整備を着実に進めていくことが極めて重要。そのためにはこれらに関わる政策が平成28年度予算の中で着実に推進されるよう積極的に活動していく必要がある。皆さんの力強いご支援、ご支持をお願いしたい。」と挨拶した。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 国土交通省の土井副大臣が就任会見

港湾・航空政策等を担務する土井亨国土交通副大臣は10月22日、就任会見を行い抱負を述べるとともに、港湾政策では国際コンテナ戦略港湾に関する取り組みや地方創生に資する港湾整備を進めていくことが重要であるとの考えを示した。

会見では就任の抱負として、「東日本大震災の被災地の実情に応じたよりきめ細かい対応をこれまで以上に進めていきたい。社会資本の計画的な整備、観光立国の推進など、真に豊かな国民生活の実現を目指していく。国交省の現場力や総合力を発揮できるよう、地方の声を受けとめながら、国交省が日本のために活動を展開していける環境づくりを進めていきたい」と意気込みを語った。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 中部地整、港湾工事への破碎瓦のリサイクル利用で実証実験

中部地方整備局港湾空港部は、港湾工事に破碎瓦をリサイクル材として有効活用するための実証実験を衣浦港で今年度実施する。衣浦港は高浜市、碧南市、半田市周辺地域など、

三州瓦の生産地を控えている。瓦は規格外の製品が発生した場合の処分が課題になっているとされ、一部は道路の路盤材等としてリサイクルされているが、これを港湾の擁壁の裏込材などとして有効活用する可能性を探る。

現場の実証実験を通じてリサイクルが可能との見通しになれば、国土交通省港湾局が別途取組んでいる「港湾・空港等リサイクル推進検討会」にデータを提供し、ガイドラインへの記載などを通じて、破碎瓦の有効活用に繋げていきたい考え。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####

平成27年10月9日

各位

NPO法人庄内リサイクル産業情報センター
理事長 富 樫 邦 男

第5回酒田港国際資源循環フォーラム開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成23年11月に酒田港がリサイクル貨物部門における日本海側拠点港に選定をされたことを受け、リサイクルポート間の情報交換と交流、循環資源のさらなる物流拡大、そして、対岸諸国との国際資源循環ネットワークの構築を目的として、第5回酒田港国際資源循環フォーラムを開催いたします。

時節柄、何かとご多用のことと存じますが是非御参加頂きたく御案内申し上げます。

なお、参加希望の方は、別紙に出席申込書に、ご記入の上、10月21日（水）までにお申込ください。

《第5回酒田港国際資源循環フォーラム 開催概要》

日 時 平成27年10月30日（金）
国際資源循環フォーラム 15時00分～17時15分
会 場 ホテルリッチ&ガーデン酒田
(酒田市若竹町1丁目1-1 TEL0234-26-1343)
参加費 無 料
主 催 NPO法人庄内リサイクル産業情報センター
共 催 酒田港リサイクルポート推進協議会／酒田ポートオーソリティ検討協議会
後 援 国土交通省／環境省／山形県／酒田市／鶴岡市／遊佐町／庄内町／三川町／
山形県港湾協会／酒田港湾振興会／酒田商工会議所／
リサイクルポート推進協議会

なお、フォーラム終了後、同会場にてレセプション（17：30～19：00／参加費5,000円）も予定しておりますので、併せてご出席賜りますようお願いいたします。

《連絡先》

NPO法人庄内リサイクル産業情報センター 事務局 斎藤
TEL：0234-31-7117（直通） FAX：0234-43-6444

第5回酒田港国際資源循環フォーラム次第

1. 開 会 (15:00)
2. 主催者挨拶 NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター
理事長 富樫 邦男
3. 来賓あいさつ 国土交通省東北地方整備局 副局長 津田 修一 氏
山形県港湾事務所所長 菅井 時弘 氏
酒田市長 丸山 至 氏
4. 講 演 ①国土交通省 港湾局海洋・環境課
港湾環境政策室 室長 中原 正顕 氏
「リサイクルポートについての最近の動向」 (仮題)

②北九州市港湾空港局 営業担当部長 光武 裕次 氏
「北九州の現状とグリーン産業の集積に向けた取り組み」 (仮題)

③資源循環ネットワーク理事 橋口 剛 氏
「国際資源循環に資する環境情報の見える化への挑戦」 (仮題)
5. 活 動 紹 介
リサイクルポート推進協議会事務局 本野 晃雄 氏
「リサイクルポート推進協議会の紹介」 (仮題)
6. 閉 会 (17:15)
7. レセプション (17:30～)

庄内リサイクル産業情報センター 斎藤あてFAX送信票

FAX 0234-43-6444

MAIL norio@sakataport.co.jp

酒田港国際資源循環フォーラム

出 欠 連 絡 票

回答締切:10月21日(水)

団 体 名	
職 氏 名	
Tel	
Fax	
E-mail	
備 考	

10月30日(金)開催の

①第5回国際資源循環フォーラム(15時~)に

出席します ・ 欠席します

②レセプション(17時30分~)に

出席します ・ 欠席します

<E-mail:rppc_jimukyoku@wave.or.jp またはFAX:03-5408-8741へご返信下さい>

リサイクルポ^oート推進協議会 会員情報追加票
(事務局にお知らせいただいている情報に変更がある場合は下記にご記入ください)

項 目		記 入 欄	備 考	
基本情報	会社(団体)名			
	郵便番号	〒		
	住所※1			
	担当者※2	所属・役職		
		フリガナ 担当者氏名		
		電話		
FAX				
E-mail				
メルマガ 配信先 ※3	配信先1	氏名		
		E-mail		
	配信先2	氏名		
		E-mail		
	配信先3	氏名		
		E-mail		
調査研究部会	調査研究部会	所属・役職		
		フリガナ 部会員氏名		
		電話		
		FAX		
		E-mail		
	汚染土壌 事業化PT	所属・役職		
		フリガナ 部会員氏名		
		参加WG		①、②、③・④、⑥
		電話		
		FAX		
		E-mail		
	循環資源 利用促進部会	所属・役職		
		フリガナ 部会員氏名		
		電話		
		FAX		
		E-mail		
	広報部会	所属・役職		
		フリガナ 部会員氏名		
		電話		
		FAX		
		E-mail		
	通信欄:ご意見等ございましたらご記入ください			

※1、2 協議会からの送付物は、「基本情報 住所、担当者」へお送りします。

※3 現在お送りしている方他にメルマガ配信を希望される方は、記入欄に氏名とメールアドレスの記入をお願いします。

※4 所属している部会の担当者に変更がある場合は記入をお願いします。

なお、新規部会入会希望の場合は、別紙「部会・PT参加申込書」に記入願います。

平成 年 月 日

部会および分科会への参加申込書

会員名 _____

参加を希望される部会・P T（プロジェクトチーム）に○印を付けて下さい（複数可）。また、担当される方の情報をご記入下さい。

部 会 名（P T名）	参加 （○印）	担 当 者 情 報					備 考
		氏 名	所属・役職	E-mail	TEL	FAX	
調査・研究部会							
	汚染土壌事業化P T						
循環資源利用促進部会							
広報部会							

通信欄：汚染土壌事業化P T希望の方は、参加希望WG（ワーキング）をご記入ください。

送付先 リサイクルポート推進協議会事務局
（担当者：本野、井手、榎並）
TEL：03-5408-8296 FAX：03-5408-8741
E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp